

## 広報はだの6月15日号に関するアンケート

作成日：令和5年7月4日

回答数	43
-----	----

### 問1 令和4年10月から施行された新制度「産後パパ育休」について知っていましたか。

項目	知っていた	知らなかった
回答数	33	10

### 問2 「産後パパ育休」の制度を利用したい、または誰かに勧めたいと思いますか。

項目	回答数
利用したい	18
勧めたい	22
利用した	2
どちらとも思わない	9

### 問3 身近な男性で、育休を取得された方はいますか。

項目	いた	いない
回答数	9	34

### 問4 広報はだのを読んで、ご意見がありましたらお聞かせください。

- 夫婦で子供を育てることは当たり前、男性を二刀流パパと呼ぶ事自体古い。働く母親も二刀流。
- 男性の育児参加も大部進んだとは思いますが、でも、家庭にもよりますが、主は母親で、負担も女性のほうが多いと思います。
- とても参考になります。変化するには環境も変えなくてはならないから、良い取り組みだと思えます。ありがとうございます御座います。
- これをしっかり勧めて進めるには、職場の理解も必要だが、そのためには根本的な働き方改革が必要だと思う。
- 1)PDF版で鮮明さが足りずQRコードが他デバイスで読めない。タップでリンクに飛ぶか、他デバイスで読み込めるか、技術的に無理ならURLの併記を。特に今回は電子申請ポータルへ渡すものなのに、途中で紙媒体を挟まないといけないのはお粗末。  
2)広報+（広報プラス）への同時アップがされない。便利になると思うからインストールするのに、手間だけかかって得る物が少ない。1と合わせて、本気でデジタル化したいのか疑問。「サイトにPDF」「専用アプリ」などの複数窓口なのは良いが、どれも1つだけでは完結せず不十分。
- 秦野市役所の取得率を公表して促したらどうか？
- 今の時代の男性は産休や育休取りたいと思う人は案外多いと思う。ただ、それに見合った働き方改革がされていない気がする。
- 折角なら秦野市役所として、育休取得率を示した方が、より良かったと思います。（もし、秦野市役所の取得率が低いなら、そもそも広報の意味があるのかと思いますが。）
- 秦野市の育休取得率を示すことで、市民の意識改革に繋がるのでは。こういう時に秦野市職員の声を使わないといけないのに、何でそこまで考えが至らないのか疑問。
- 河川浄化月間の河川清掃は、ただいつも通りやるだけじゃなくて、神奈川県や議員さんや学生など、もっと色んな人を入れてやるべき。参加者が高齢化してきているから、今まで通りのやり方だと限界がある。

- パートナーシップ宣誓制度はいい取り組みだけど、鉄は熱いうちに打てというけれど、その後も継続して打ち続けてほしい。よく制度を作ったっきりということがあるから、しっかり世間の声や当事者の声を聞いて、アップデートし続けてほしい。
- パートナーシップ宣誓制度で、市営住宅や県営住宅への入居が可能というけれど、実際の当事者はそれを求めているのでしょうか？  
これから、その実態が分かってくると思いますが、それよりももっと求めていることがあると思います。  
この制度を作る前に当事者の声をしっかり聞きましたか？
- そもそも、秦野市役所は産後パパ育休を使っているのでしょうか？以前の自転車ヘルメットと同じで、広報しているくらいだから、その広報主体がそれを示してほしい。そして、これを使うためには職場の理解と働き方改革が必須。それも全部含めて広報すべき。パートナーシップ宣誓制度も、当事者はもちろん周りの理解が何よりも必要。制度を整えただけではなくて、それを市民全員にわかってくれないと意味がない。そして、もっと市外にPRすればいいと思うので、広報はだのに留めては勿体無い。色々な場所でPRすべき。
- パパ育休って、職場理解と働き方改革とセットのものでしょ？何で、パパ育休だけお知らせして、働き方改革とかは少しも触れないの？取りたくても取れない人がいるかもしれないのに、こういう広報の仕方だと、そういう人達を逆撫でするんじゃない？何で線で考えないで、点の考えの広報しかしないのかとても不思議。
- 育休を取れるならしたい。出来ないから困っている。行政は制度は作るけどそれを運用させる事を考えていない。もっと市長などから企業に訴えるべき。
- 男性の育休制度は周りの理解が本当の意味で追いついていないと取れない。働き方改革まで含めて広報してほしい。
- パートナーシップ制度を作ったっきりにしなくて、それをしっかり運用して、ようやく意味を成す物になる。制度を作って満足しないで欲しい。

## ○性別

項目	男性	女性	無回答
回答数	33	10	0

## ○年齢

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
回答数	1	8	9	11
項目	50歳代	60歳代	70歳代以上	
回答数	10	2	2	

